



2024年9月17日

各位

会社名 株式会社トリプルアイズ
 代表者名 代表取締役 山田 雄一郎
 (コード番号: 5026 東証グロース)
 問合わせ先 執行役員 近藤 一寛
 (TEL. 03-3526-2201)

**株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングスとの資本業務提携、
 第三者割当により発行される株式の募集に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、当社並びに株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス(以下「GC ジョイコ」又は「割当予定先」といいます。の間で資本業務提携(以下「本資本業務提携」といいます。)を行うことを目的に資本業務提携契約(以下「本資本業務提携契約」といいます。)を締結すること、並びに、GC ジョイコを割当予定先とする第三者割当による新株式の発行(以下「本第三者割当増資」といいます。本第三者割当増資により発行される株式を「本新株式」といいます。)を行うことを決議し、本資本業務提携契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

I. 本資本業務提携の概要

1. 本資本業務提携の目的及び理由

当社グループは、「テクノロジーに想像力を載せる」という経営理念の下、テクノロジーと想像力との融合によるイノベーションの追求によって、テクノロジーと人が共存する社会の創生を目指しております。当社グループのAIソリューション事業においては、独自に開発したAIエンジンによる画像認証等のサービス「AIZE」・アルコール検知システムの「AIZE Breath」等を展開し、ディープラーニングに代表される機械学習を用いたAIの研究開発に取り組んできており、とくに顔認証においては世界最大級、500 次元以上の顔の特徴量によって認証率を高め、正面画像であれば 99%の認証率を実現しております。そうした中で既存のAIソリューション事業の業績改善と2023年9月にグループインした株式会社ゼロフィールドのGPUサーバー事業の好調により、2022年5月の東証グロース上場後(2022年8月期3Q以降)、2024年8月期第3四半期累計では売上高3,033百万円(前年同期比174.8%)、売上総利益1,028百万円となっており、いずれも過去最高を達成し、営業利益19百万円、経常利益49百万円と当期第2四半期以降黒字を継続しております。また、上記の業況および2024年7月よりグループインした株式会社BEXの業績にともない、2024年7月12日付けの「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり当連結会計年度において、通期業績の上方修正を行っております。2022年5月の上場を経て既存事業の業績向上に邁進し、上場後のM&Aによりグループ会社2社が加わり規模が拡大し、新たな成長ステージを迎えているという状況です。

本件の割当先であるGCジョイコは東京証券取引所スタンダード市場に株式を上場しており、経営理念に「①、次世代に通用する最高の商品・サービスを提供し、社会に貢献します。②、常に挑戦を続け、新しい価値の創造を目指します。③、全社員が最高のパフォーマンスを発揮できる環境を整え、継続的な成長を目指します。」を掲げ、長年に渡り遊技場向けプリペイドカードシステム業界において、基幹システムやその周辺システムを中心に様々なサービス提供を行ってきた実績を有しています。また、GCジョイコは、幅広い産業におけるパートナーと共に社会課題の解決に貢献する、新たなビジネスやサービス創造に取り組んでおります。

下記「6. 割当予定先の選定理由等(2) 割当予定先を選定した理由」に記載の通り、当社はGCジョイコとの間で2024年3月～8月にかけて本資本業務提携に向けた協議を続けてまいりました。具体的には、GCジョイコに対しての開発プロセスの標準化、システム試験業務の改善、インフラ・基幹システムの更新等のリファクタリング作業から顧客動向や売上等、各種データ分析におけるAIの活用、デジタル端末による新しい顧客体験の提供に向けたAIの活用、イベント・プロモーション戦略へのAIの活用等の幅広い領域を当社で対応いたします。AI技術を用いた遊技業界のデジタル化を目指すことで顧客体験価値の向上を狙うことによりシナジー効果が期待できることや、業務提携の各業務及び事業を進めるにあたり、当社は優先的にエンジニアリソースを確保することで、GCジョイコから当社に2024年9月～2027年8月の3年間で、500,000,000円(今後サービス内容の変化等に応じて割当予定先と協議の上、金額は変化する可能性があります)程度の開発発注を行うことに合意し、当社グループの業績への寄与が期待できることから本資本業務提携を実施することといたしました。

また、今般、同社との中長期的な関係強化と資本面における提携関係を構築することが当社グループの企業価値及び株主価値を向上することが期待できることから、同社に対する第三者割当増資により新株式を発行することといたしました。

2. 本資本業務提携の内容

(1) 業務提携の内容

当社及びGCジョイコの事業資産を有効活用することによってシナジー効果を発揮し、両社の事業基盤の強化拡大を図ることを目的としており、現時点において合意している業務提携の概要は以下のとおりです。

① システムリプレース・リファクタリング

当社が長年培ってきたシステム開発の知見を活かし、GCジョイコの(i)既存システムのアーキテクチャやプログラムの刷新によるシステム性能強化や機能追加、(ii)内製化できていなかった開発プロセス標準を整備することによる全体システムの一貫性の確保、(iii)煩雑となっていたシステム受入試験の自動化による品質向上と工数削減、(iv)インフラのクラウド化、ローコードツールの導入と基幹システムの円滑な更改に向けた取り組みを行ってまいります。

② AIを用いた遊技業界のデジタル化

当社及びGCジョイコは、顧客動向や売上等、各種データ分析におけるAIの活用、デジタル端末による新しい顧客体験の提供に向けたAIの活用、イベント・プロモーション戦略へのAIの活用等の幅広い領域で、当社AI技術を遊技業界の課題解決、顧客体験価値のさらなる向上に向けた取り組みを行ってまいります。

また、業務提携の各業務及び事業を進めるにあたり、当社は、優先的にエンジニアリソースを確保すること、GCジョイコは、当社に2024年9月～2027年8月の3年間で、500,000,000円程度(今後サービス内容の変化等に応じて割当予定先と協議の上、金額は変化する可能性があります)の開発発注を行うことに合意しております。さらに、当社は、本資本業務提携契約の有効期間中、遊技業界において、割当予定先及び割当予定先の100%子会社以外の会社と協業する場合は、事前に割当予定先の承諾を得ることに合意しております。

(2) 資本提携の内容

当社は、本資本業務提携の一環として、本第三者割当により、GCジョイコを割当予定先として、当社普通株式400,000株を割り当てます。本新株式の発行後にGCジョイコが所有することになる当社普通株式の発行済株式総数に対する割合は4.79%となります。

3. 本資本業務提携の相手先の概要

本資本業務提携の相手先である割当予定先の概要は、後記「II. 第三者割当による新株式の発行6. 割当予定先の選定理由等(1) 割当予定先の概要」をご参照ください。

4. 日程

(1)	取締役会決議日	2024年9月17日
(2)	本資本業務提携 契約書締結日	2024年9月17日
(3)	本第三者割当増資に関する払込期日(予定)	2024年10月9日
(4)	資本業務提携に係る事業開始日(予定)	本第三者割当増資に係る払込日である2024年10月9日以降、本資本業務提携契約に基づき、各施策を開始してまいります。

II. 第三者割当による新株式の発行

1. 募集の概要

(1) 払込期日	2024年10月9日
(2) 発行新株式数	普通株式 400,000 株
(3) 発行価額	1株につき金 1,792 円
(4) 調達資金の額	716,800,000 円
(5) 募集又は割当方法 (割当予定先)	第三者割当の方法により、下記の者に下記の数の当社普通株式を割り当てる。 株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス 400,000 株
(6) その他	金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力が発生することを条件とします。

2. 募集の目的及び理由

(1) 本第三者割当増資の目的

上記「I. 本資本業務提携の概要 1. 本資本業務提携の目的及び理由」に記載のとおり、本第三者割当は、当社と割当予定先との間の業務提携と合わせて実施するものであり、本第三者割当により調達した資金を下記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期 (2) 調達する資金の具体的な使途」にて記載のとおり活用し、本資本業務提携の効果をより一層促進するためのものとあります。

(2) 本第三者割当増資による資金調達を選択した理由

今回の資金調達にあたり既存株主の皆様への影響も考慮し、その他の様々な選択肢についても検討いたしました。以下の理由から、本第三者割当が最善と判断いたしました。

- ① 当社の2024年8月期第3四半期末現在で自己資本比率が15.8%と一般的に低い水準にあり、間接金融(銀行借入)による資金調達は、負債性のある資金調達を追加することで自己資本比率の低下を招き、当社の財務体質の維持・強化に資さないこと。なお、下記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期 (2) 調達する資金の具体的な使途」に記載のとおり、本第三者割当増資の調達資金により従前からの借入金を返済するため、自己資本比率の改善に資すること。
- ② 公募増資や株主割当、ライツオファリングについては、一般に株式を発行するまでの準備期間が長く、かつ第三者割当の方法に比べて調達金額に占めるコストが高くなることを踏まえ、現時点における資金調達方法としては合理的でないこと。
- ③ 新株予約権による資金調達は、発行時に必要な資金を調達できず、株価の動向により当初想定していた資金調達ができない、又は、実際の調達金額が当初想定されている金額を下回る可能性があること。

また、本第三者割当増資により当社株式の株式価値の希薄化が生じることにはなりますが、下記「5. 発行条件等の合理性 (2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠」に記載のとおり、本第三者割当増資は当社の企業価値の向上及び株主価値の増大に資するものであり、結果として既存株主の皆様への利益向上にも資するものであり、本第三者割当による株式の希薄化の規模は合理的であるとと考えております。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

① 払込金額の総額	716,800,000 円
② 発行諸費用の概算額	3,000,000 円
③ 差引手取概算額	713,800,000 円

- (注) 1. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。
2. 発行諸費用の概算額は、主に、有価証券届出書等の書類作成費用、登記関連費用、その他諸費用等からなります。

(2) 調達する資金の具体的な使途

当社は2024年5月27日発行決議、2024年9月2日を払込期日とする第三者割当増資による普通株式の発行を行ったことにより、合計512,692千円(差引手取概算額の合計510,292千円)を調達(以下「前回資金調達」といいます。)しております。前回資金調達については2024年5月27日付公表「第三者割当により発行される株式の募集に関するお知らせ」に記載のとおり2024年9月2日にて払込がなされており、当初の予定から手取金の使途の変更ございません。前回資金調達の調達資金の充当状況は以下のとおりです。

〈前回資金調達の充当状況等〉

具体的な資金使途	金額 (千円)	充当額	支出予定時期
① AI導入による設計業務の効率化システム 図面・部品・自動車法規等に関わるAI開発 設計業務情報に係る生成AI関連開発	180,000	—	2024年9月～2026年8月
② AIデータセンター構築	150,000	—	2024年9月～2026年8月
③ 借入金の返済	180,292	—	2024年9月～2025年8月

本第三者割当増資の差引手取概算額713,800,000円(以下「本調達資金」という。)について、手取金の使途は主に下記のとおりとなります。

〈本第三者割当増資により調達する資金の具体的な使途〉

具体的な資金使途	金額(千円)	支出予定時期
① M&A待機資金	613,800	2024年11月～2026年8月
② 借入金の返済	100,000	2025年9月～2026年8月
合計	713,800	

具体的な資金使途は以下のとおりであります。なお、支出予定時期までは当社取引銀行の口座にて管理する予定であります。

① M&A待機資金

当社グループは、2024年7月12日に発表した2024年8月期第3四半期決算説明資料の中で、「レガシー産業領域へのAI社会実装(P.17)」「AIソリューション事業に寄与する積極的なM&Aの実施(P.31)」を当社戦略の1つの軸として掲げております。今後当社グループの企業価値を高めるためには、M&A等による新規事業への参入や海外展開を加速化し、当社の経営方針である『AIの社会実装』という観点から、AIを先進技術として追うのではなく、実際に利益やキャッシュ・フロー等の観点で定量的な改善効果を創出し、産業共通課題を解決する手段として社会に実装することを目指し、引き続き事業基盤の強化と新規事業などの成長戦略の推進に取り組んでまいります。

当該調達資金につきましては、当社AIソリューション事業領域(AI開発、システム開発、AI自社サービス領域)のロールアップ型M&Aや、当社のAI技術の活用による事業効率化や対象会社の自社サービスへの組み込み・AI技術を活用した新規事業の創出という当社グループとシナジーの発揮が見込めるレガシー産業領域(例えば、自動車業界、医療業界、アミューズメント業界など)のM&Aに充当する予定であります。

なお、現時点において、M&Aの具体的な内容・金額について当社取締役会において決定した案件及び検討中の案件はなく、支出予定時期を具体的に想定することは困難ですが、当社グループとのシナジーの発揮が見込める企業のM&A投資資金として、機動的な資金充当に対応するため、総額 613,800 千円を資金使途として考えております。M&Aのための資金の支出予定期間において、当社が希望する条件のM&Aが成立に至らなかった場合は、資金使途の変更について速やかに開示いたします。

また、具体的なM&A先の選定(デューデリジェンス)にあたっては、対象企業の業種・業態に応じて、システムインテグレーション関連・AI/ZE 開発関連・DX ソリューション開発関連・財務関連・法務関連等の社内関連部署にて、多角的な視点から、当該M&Aが上記戦略に沿うものであるかを調査分析しております。M&Aの実行にあたっては、当社取締役会において、グロース市場において株主価値向上が図られる先進的な意思決定となるか、当社グループの収益性向上に資するのか、自己資本比率を踏まえた当社グループの財務への影響や、投資回収期間など様々な観点を併せて審議した上で決定しております。

② 借入金の返済

当社グループは財務体質の強化及び経営基盤安定化を経営上の重要な課題と位置付けております。前回資金調達③借入金の返済と同様に今回の資金使途の一部として自己資本比率の向上を目的に、主に AI/ZE に係る技術開発投資、人材採用費及び人件費等の運転資金として金融機関から借り入れた 2024 年 8 月 31 日現在の借入金の残高 2,275,485 千円のうち、2026 年 8 月期に 100,000 千円を返済する予定であります。

また、前回資金調達に係る資金使途につきましては、AI データセンターの構築、株式会社 BEX と取り組む自動車設計業務における AI システム開発、財務体質の改善を意図した借入金返済へ充当する旨を記載しておりますが、こちらは変わらず行う予定であります。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

本第三者割当により調達する資金を、上記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期(2) 調達する資金の具体的な使途」に記載の使途に充当することで、当社グループにおける収益基盤の一層の拡大を図るとともに、企業価値の向上を図ることができるため、本第三者割当は株主価値の向上に資する合理的なものであると考えております。

5. 発行条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的な内容

本新株式の払込金額につきましては、本第三者割当に係る取締役会決議日の前営業日(2024 年 9 月 13 日)における東京証券取引所が公表した当社普通株式の終値である 1,792 円としました。これは、直近の株価が現時点における当社の客観的企業価値を適正に反映していると判断したためであります。

なお、この価格は、東京証券取引所グロース市場における当社普通株式の取締役会決議日の前営業日(2024 年 9 月 13 日)の直近 1 ヶ月(2024 年 8 月 14 日から 2024 年 9 月 13 日まで)終値の単純平均値である 1,452 円(円未満四捨五入。終値の単純平均値において、以下同じ。)に対して 23.42%のプレミアム(小数点以下第 3 位四捨五入。プレミアム率及びディスカウント率の計算において、以下同じ。)、3 ヶ月(2024 年 6 月 14 日から 2024 年 9 月 13 日まで)終値の単純平均値である 1,415 円に対して 26.64%のプレミアム、6 ヶ月(2024 年 3 月 14 日から 2024 年 9 月 13 日まで)終値の単純平均値である 1,246 円に対して 43.82%のプレミアムとなります。

以上のことから、当社は、本新株式の払込金額の決定方法は、適正かつ妥当であり、本新株式の払込金額は、割当予定先に特に有利な金額には該当しないものと判断しております。この判断に基づいて、当社取締役会は、本新株式の発行条件について十分に討議、検討を行い、取締役全員の賛成により本新株式の発行につき決議いたしました。

なお、当社監査等委員会(その内 2 名が社外取締役)から、本新株式の払込金額の決定方法は、当社普通株式の価値を表す客観的な値である市場価格を基準にしており、また、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠し、本新株式の払込金額は割当予定先に特に有利な金額に該当しない合理的な金額であり、適法である旨の意見をj得ております。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当増資において発行する当社普通株式の数は 400,000 株(議決権数 4,000 個)の予定であり、2024 年 5 月 27 日発行決議、2024 年 9 月 2 日付払込期日の第三者割当増資 494,400 株(議決権 4,944 個)を加えた 894,400 株(議決権 8,944 個)に対して、2024 年 8 月 31 日現在の当社の総株主の議決権数 74,537 個を分母とする希薄化率は 12.00%に相当します。しかしながら、上記のとおり、GC ジョイコの出資受入により、当社グループとの資本業務提携関係を通じて、当社グループの中長期的な企業価値の向上に寄与するものであり、ひいては株主価値の向上に資するものであると考えていることから、本第三者割当増資による発行数量及び希薄化の規模は合理的であると判断いたしました。

6. 割当予定先の選定理由等

(1) 割当予定先の概要

(1)	名称	株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス
(2)	所在地	東京都台東区上野五丁目 18 番 10 号アイセ上野ビル
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 鈴木 聡
(4)	事業内容	プライベートカードの発行及び販売等を行う子会社等の経営管理及びそれに付帯・関連する事業
(5)	資本金	5,956 百万円
(6)	設立年月日	2011 年 4 月 1 日
(7)	発行済株式数	14,681,400 株
(8)	決算期	3 月
(9)	社員数	8 名
(10)	主要取引先	株式会社 SANKYO、サクサホールディングス株式会社
(11)	主要取引銀行	三井住友銀行
(12)	大株主及び持株比率	株式会社 SANKYO 9.56% マミヤ・オーピー株式会社 8.02% 株式会社平和 4.17% 京楽産業株式会社 4.17% サミー株式会社 4.17% 株式会社大一商会 4.17% 株式会社ニューギン 4.17% 株式会社藤商事 4.17% サクサ株式会社 3.47% 株式会社サンセイアールアンドディ 3.15% 株式会社三洋物産 3.15% 株式会社大都技研 3.15%
(13)	当事会社間の関係	
	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。

	取引関係	業務提携の各業務及び事業を進めるにあたり、当社は優先的にエンジニアリソースを確保することに合意し、GC ジョイコから当社に 24/9～27/8 の 3 年間で、500,000,000 円程度の開発発注を行うことに合意し、事業推進予定 (今後サービス内容の変化等に応じて割当予定先と協議の上、金額は変化する可能性があります)		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(14)	最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2022 年 3 月期	2023 年 3 月期	2024 年 3 月期
	純資産 (百万円)	42,179	46,039	54,376
	総資産 (百万円)	48,186	54,603	65,570
	一株あたり純資産 (円)	3,089.96	3,233.17	3,707.48
	売上高 (百万円)	11,447	21,691	36,289
	営業利益 (百万円)	1,120	4,465	10,523
	経常利益 (百万円)	1,270	4,639	10,774
	親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,262	4,299	7,550
	1 株当たり当期純利益 (円)	93.91	309.82	527.77
	1 株当たり配当金 (円)	35.00	35.00	60.00
	(内、1 株当たり中間配当額)	(17.50)	(17.50)	(22.50)

※GC ジョイコは、東京証券取引所スタンダード市場に上場しており、GC ジョイコが東京証券取引所に提出したコーポレート・ガバナンスに関する報告書（最終更新日、2024 年 6 月 26 日）の「IV 内部統制システム等に関する事項」「2. 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及びその整備状況」において、反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及びその整備状況が記載されており、当社において当該内容及び基本的な方針を確認しており、反社会的勢力等とは何らの関係も有しないものと判断しております。

(2) 割当予定先を選定した理由

当社グループは、今後も株主様をはじめとするステークホルダーの利益を高めるため、当社グループの財務体質、経営基盤の強化、収益機会の創出を図っていくことが、当社グループの果たすべき役割であると認識しております。今回の割当予定先である GC ジョイコとは、取引金融機関からの紹介を契機として出会い、2024 年 3 月～8 月にかけて資本業務提携に向けた協議を続けてまいりました。

具体的には、システム導入に関する支援からシステム開発・実装支援・導入後のサポートそして運用支援と幅広い領域を当社で対応いたします。AI 技術を用いたイベントプロモーションの戦略立案・店舗運営の最適化を目指すことで顧客体験価値の向上を狙うことによりシナジー効果が期待できることや、業務提携の各業務及び事業を進めるにあたり、当社は優先的にエンジニアリソースを確保することに合意し、GC ジョイコから当社に 2024 年 9 月～2027 年 8 月の 3 年間で、500,000,000 円程度の開発発注を行うことに合意し、事業推進予定(今後サービス内容の変化等に応じて割当予定先と協議の上、金額は変化する可能性があります)であり当社グループの業績への寄与が期待できます。

2024 年 3 月～8 月の複数回の面談を経て、成長・挑戦という両社の価値観等を共有する中で業務も進めつつ、今後の協力関係を確固たるものとする目的で、GC ジョイコを本件第三者割当増資の割当予定先として選定いたしました。

(3) 割当予定先の保有方針

当社は、割当予定先からは、本第三者割当により割り当てる当社普通株式について、中・長期に保有する意向であることを口頭にて確認しております。

なお、当社は、割当予定先から、割当予定先が払込期日から 2 年以内に本件第三者割当により発行される当社普通株式の全部又は一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を取得する予定です。

(4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、GC ジョイコから、本第三者割当の払込みに要する資金を保有している旨の表明を受けております。また、当社は、GC ジョイコが 2024 年 6 月 21 日で公表している「2024 年 3 月期 有価証券報告書」に記載の連結貸借対照表により、同社が本第三者割当の払込みに要する十分な現預金を保有していることを確認し、当社としても、同社における本第三者割当の払込みのために必要な資金等の状況に問題はないものと判断しております。

7. 募集後の大株主及び持株比率

募集前 (2024 年 8 月 31 日現在)		募集後	
福原 聖子	29.35%	福原 聖子	27.94%
株式会社コスモウエア	22.64%	株式会社コスモウエア	21.56%
PROCESS UNIT FUND 投資事業有限責任組合	5.08%	PROCESS UNIT FUND 投資事業有限責任組合	4.83%
一般社団法人恵那会	4.66%	株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス	4.79%
JPE 第 1 号株式会社	4.29%	一般社団法人恵那会	4.44%
株式会社キューブシステム	3.77%	JPE 第 1 号株式会社	4.08%
株式会社 TOKAI コミュニケーションズ	3.14%	株式会社キューブシステム	3.59%
井口邦	1.55%	株式会社 TOKAI コミュニケーションズ	2.99%
間中啓次	1.51%	井口邦	1.48%
株式会社シーティーエス	1.28%	間中啓次	1.44%

(注) 1. 2024 年 8 月 31 日現在の株主名簿を基準とし、2024 年 5 月 27 日発行決議、2024 年 9 月 2 日払込期日の第三者割当増資 494,400 株（議決権 4,944 個）を含めて記載しております。

2. 上記は発行済株式総数に対する所有株式数の割合を記載しております。割当後の持株比率は当社普通株式 400,000 株が発行された後の発行済株式数に基づき記載しております。

8. 今後の見通し

本第三者割当は当社の AI ソリューション事業であります AIZE 部門の体制強化に繋がり、中長期的な成長と収益性改善に資するものと考えておりますが、2025 年 8 月期以降の当社グループの業績に与える影響は現在精査中であり、今後、開示すべき事項が発生した場合には速やかに開示いたします。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本件第三者割当は、① 希薄化率が 25%未満であること、② 支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める上場規程第 4 3 2 条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績（連結）

	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期
連結売上高	2,122百万円	2,424百万円	2,346百万円
連結営業利益	60百万円	133百万円	△269百万円
連結経常利益	83百万円	115百万円	△290百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	38百万円	112百万円	△825百万円
1株当たり連結当期純利益	6.12円	17.47円	△118.67円
1株当たり配当金	-	-	-
1株当たり連結純資産	71.23円	166.53円	47.61円

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（2024年8月31日現在）

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	7,456,300株	100.0%
現時点の転換価額（行使価額） における潜在株式数	480,000株	6.4%
下限値の転換価額（行使価額） における潜在株式数	-	-
上限値の転換価額（行使価額） における潜在株式数	-	-

(注) 上記潜在株式数は、第1回、第2回、第3回及び第4回新株予約権に係る潜在株式数であります。

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期
始 値	2,200円	1,456円	778円
高 値	2,319円	1,494円	2,141円
安 値	1,026円	591円	594円
終 値	1,378円	767円	1,544円

② 最近6か月間の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
始 値	830円	1,449円	1,330円	1,258円	1,410円	1,567円
高 値	1,772円	1,532円	1,760円	2,141円	1,580円	1,966円
安 値	773円	958円	1,219円	1,250円	952円	1,436円
終 値	1,499円	1,335円	1,242円	1,428円	1,544円	1,792円

(注) 9月の株価については、2024年9月13日現在で表示しております。

③ 発行決議日前営業日における株価

	2024年9月13日
始 値	1,835円
高 値	1,966円
安 値	1,777円
終 値	1,792円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

・公募増資

払込期日	2022年5月30日
調達資金の額	425,184,000円（差引手取概算額）
発行価額	809.60円
募集時における 発行済株式総数	6,262,600株
当該募集による 発行株式数	540,000株
募集後における 発行済株式総数	6,802,600株
発行時における 当初の資金使途	1 技術への投資として、AIZEの新規プロダクトのための技術開発投資等 2 人材への投資として、a)人材採用費、b)エンジニアに対する先端テクノロジー研修に係る研修費、c)営業・組織強化のための新規採用人員の人件費
発行時における 支出予定時期	1 技術への投資として、2022年8月期に30,986千円、2023年8月期に73,208千円、2024年8月期に100,801千円 2 a)人材採用費として、2022年8月期に2,806千円、2023年8月期に59,600千円、2024年8月期に62,400千円 b)エンジニアに対する先端テクノロジー研修に係る研修費として、2022年8月期に280千円、2023年8月期に1,602千円 c)営業・組織強化のための新規採用人員の人件費として、2022年8月期に3,897千円、2023年8月期に63,218千円、2024年8月期に91,697千円
2023年7月27日にお ける変更後の資金使 途及び支出予定時期	1 技術への投資 245,731千円(2022年6月～2024年8月 支出予定) 2 人材への投資 244,768千円(2022年6月～2025年8月 支出予定)
現時点における 充当状況	1 技術への投資 上記資金使途への充当完了しております 2 人材への投資 180,453千円資金に充当しております

(注) 本公募増資につきましては、当社株式の新規上場時に実施したものであり、「発行時における当初の資金使途」、「発行時における支出予定時期」、「現時点における充当状況」につきましては、下記新規上場時の主幹事証券会社を割当先とする第三者割当増資の状況と併せて記載しております。

・第三者割当増資

払込期日	2022年6月24日
調達資金の額	65,316,000円(差引手取概算額上限)
発行価額	809.60円
募集時における発行済株式総数	6,262,600株
当該募集による発行株式数	81,000株
募集後における発行済株式総数	6,883,600株(注)
割当先	いちよし証券株式会社
発行時における当初の資金使途	上記公募増資の「発行時における当初の資金使途」欄に併せて記載しておりますので、ご参照ください。
発行時における支出予定時期	上記公募増資の「発行時における支出予定時期」欄に本第三者割当増資との合計額を記載しておりますので、ご参照ください。
現時点における充当状況	上記公募増資の「現時点における充当状況」欄に併せて記載しておりますので、ご参照ください。

(注) 1. 「募集後における発行済株式総数」につきましては、上記公募増資の「募集後における発行済株式総数」に「当該募集による発行株式数」を加えた数となっております。

2. 2023年7月27日に公表した「第三者割当により発行される株式の募集に関する

お知らせ 3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期(2) 調達する資金の具体的な使途」に記載の通り資金使途を変更しております。

・第三者割当増資

払込期日	2023年9月29日
調達資金の額	298,949,100円(差引手取概算額)
発行価額	743円
募集時における発行済株式総数	6,977,000株(注)
当該募集による発行株式数	403,700株
募集後における発行済株式総数	7,380,700株
割当先	PROCESS UNIT FUND 投資事業有限責任組合
発行時における当初の資金使途	技術への投資として、AIZEに係る技術開発投資、GPU サーバー事業の新商品開発等
発行時における支出予定時期	技術への投資として、2024年8月期に71,017千円、2025年8月期に132,536千円、2026年8月期に95,395千円
現時点における充当状況	技術への投資71,017千円資金に充当しております。

(注) 「募集時における発行済株式総数」につきましては、当該募集の払込期日である2023年9月29日の前営業日における発行済株式総数を記載しております。

・第三者割当増資

払込期日	2024年9月2日
調達資金の額	510,292,800円(差引手取概算額)
発行価額	1,037円
募集時における発行済株式総数	7,456,300株(注)
当該募集による発行株式数	494,400株
募集後における発行済株式総数	7,950,700株
割当先	一般社団法人恵那会 370,800株 井口邦 123,600株
発行時における当初の資金使途	技術への投資として、生成AI関連開発、AIデータセンター構築および借入金の返済
発行時における支出予定時期	1 技術への投資として、2025年8月期に200,000千円、2026年8月期に130,000千円 2 借入金返済として、2025年8月期に180,292千円
現時点における充当状況	なし

(注) 「募集時における発行済株式総数」につきましては、当該募集の払込期日である2024年9月2日の前営業日における発行済株式総数を記載しております。

11. 発行要項

(1) 募集株式の種類及び数	普通株式 400,000 株
(2) 払込金額	1 株につき 1,792 円
(3) 払込金額の総額	716,800,000 円
(4) 増加する資本金の額	358,400,000 円
(5) 増加する資本準備金の額	358,400,000 円
(6) 割当方法	第三者割当の方法により、下記の者に下記の数の当社普通株式を割り当てる。 株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス 400,000 株
(7) 払込期日	2024 年 10 月 9 日 (水)
(8) その他	上記各項については、金融商品取引法による有価証券届出書の効力発生を条件とする。

以 上